

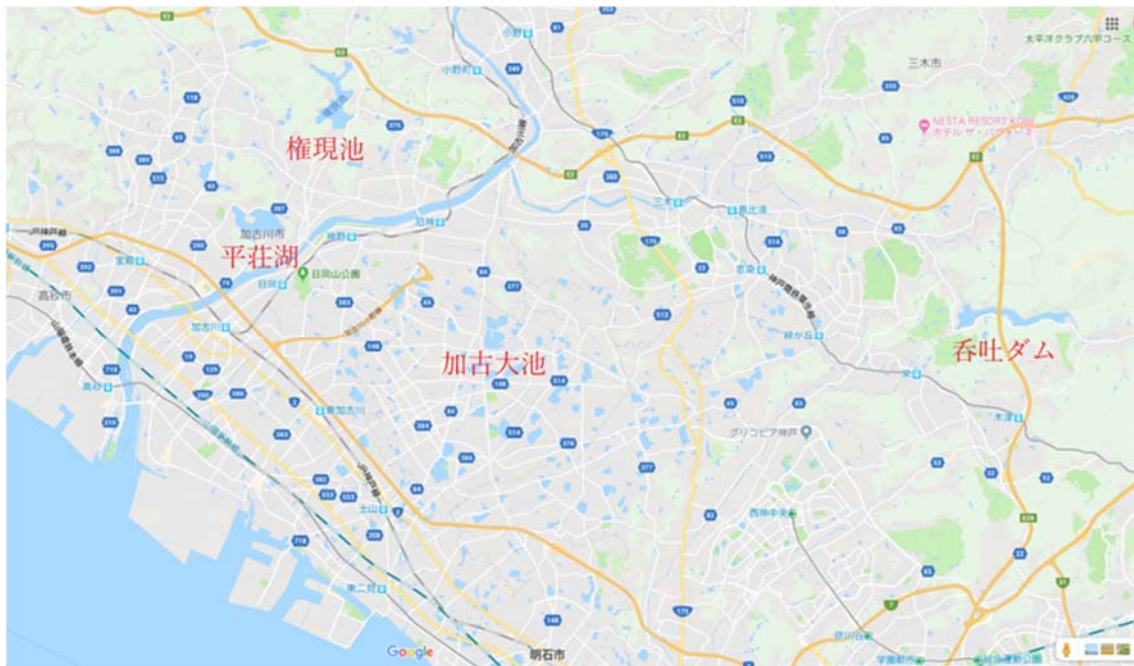
2019. 8. 9

畑 啓之

東播磨のため池の数の多さとその災害に対する法指定「特定ため池」

東播磨には多くのため池がある。その最大のものが加古大池である。川と違って池は平野の中に存在し、その水の流入も人工的に管理されているので、一見安全であるように思えるのだが、決してそうではないようだ。池を取り巻く土手が一旦決壊すると、その事情はダムの決壊と同じである。

稲美町には最大の加古大池をはじめとして実に多くの池がある。下の地図中に記している権現池、平荘湖、吞吐ダムはいずれもダムである。これらのダムと比較しても、加古大池はそれなりの水面面積を有していることが分かる。



兵庫県内の市町村ごとの農業用ため池の数、およびその危険性に注目すべしとされる特定ため池の数は、下のWebで確認できる。特定ため池数／農業用ため池数でみると、稲美町 76/88、加古川市 223/327 となっている。稲美町は緩やかに傾斜した台地に比較的大きな池が存在するのに対し、加古川市は比較的急峻な地形に多くの小さなため池が存在する。

兵庫県内の農業用ため池数

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk10/faq/documents/h31tameikesuu.pdf>

特定ため池の指定

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk11/sasaki2.html>

ため池の決壊によりその周辺の区域に被害を及ぼすおそれが特にあるものを特定ため池に指定します。特定ため池では、防災工事の実施前に県への届出(市町経由)、掘削等の形状変更や植栽などの行為は県の許可が必要となります。

令和元年7月31日付指定の特定ため池(市町村ごとのデータ)

神戸新聞 2019.8.9

危険ため池 5540カ所指定

県、改修促し決壊防止狙う

兵庫県は、豪雨や地震により決壊し周辺に被害が出る恐れのある「特定ため池」に県内5540カ所を指定した。7月に施行されたため池管理保全法と改正県ため池保全条例に基づく措置で、初の指定となる。ため池の所有者・管理者に改修工事を促し、人的・物的被害を防ぐ狙いがある。

指定は7月31日付。堤が崩れるなど危険なため池の管理者に対し改修を命令できるなど行政による安全管理を強化した。改修を怠れば、罰金を科せられる。

特定ため池の内訳は、浸水域に住宅や公共施設がある13881カ所▽土石流

(山路進)

ため池は最近では釣りやウインドサーフィンなどのレジャーに利用されたり、水面に太陽電池を配して発電に利用したりされている。GoogleMapでため池を拡大してみると、多くの太陽発電パネルが設置されているのが見て取れる。

神戸新聞 2019.8.9

県内最古、最大のため池

東播磨地域は全国有数のため池密度を誇り、稲美町には県内最大と最古のため池がある。大きな河川がなく雨も少ない土地だったことから、水不足で苦しんだ先人たちの手で造られた地域の農業を支えてきた。

昭和40年代に140ほどあったため池の数は現在88。近年は農業利用が減少する中、清掃活動や絶滅危惧種の保護、環境学習などを通じてため池を次世代に継承する活動が行われているほか、憩いの場としても多くの人に親しまれている。

環境学習、憩いの場にも

49畧と県内最大面積の「加古大池」は、周囲3.5kmの遊歩道でウォーキングやジョギングを楽しめるのはもちろん、ウインドサーフィンなどのレジャーを楽しむ人も多い。また、週末(基本的に隔週土曜日)に管理棟前で開催される朝市も人気を集めている。

675年に築造されたと伝わる県内最古の「天満大池」は、地域住民や小学生らが安全する絶滅危惧種アサギが群生し、野鳥のさえずりが聞けるなど自然豊かな環境。ため池に併設された「天満大池公園」にはバーベキューサイト(要予約)や遊具があり、週末になると開放的な空間でバーベキューを楽しむ家族連れらでにぎわう。

稲美町がため池やため池に関連する文化財などを巡って「ため池文化財マップ」を制作し、観光客や地元住民に提供している。



県内最大面積の「加古大池」でウインドサーフィンを楽しむ人々たち＝稲美町加古



東播磨地域は全国有数のため池密度を誇る。憩いの場として多くの人に親しまれている「稲美町六分一、天満大池」

トパスは、同町産業課やふあ〜みん(同町六分一)で手に入る。